

東京都塗装工業協同組合
組合員各位様

インフルエンザワクチン予防接種のご案内

1 . 個別接種

(完全予約制・単独実施ならびに健診時接種対応可能)
「旗の台健診センター」にて承ります。

<http://zrf.or.jp/hatanodai/news/20210901163>

なお詳細はすべて、以下へお問い合わせください。

・旗の台健診センター 電話：03-3783-9411

2 . 巡回での集団接種

※詳細はすべて、以下へお問い合わせください。

一般財団法人全日本労働福祉協会 渉外部

電話：03-5767-1713 FAX：03-3765-1662

=====

東京都塗装工業協同組合賛助会員

一般財団法人全日本労働福祉協会

渉外部 堀口 純

〒143-0016 東京都大田区大森北1-18-18 3F

電話：03-5767-1713 FAX：03-3765-1662

mail:j.horiguchi@zrf.or.jp

<http://www.zrf.or.jp>

=====

～コロナとインフルの二重感染「フルロナ」が報告される～

2022/1/11

- ・今シーズン、米国ではインフルエンザ A 型・中国では B 型が流行し始めています。
現在も、飛行機による海外からの到着便はありますから、新型コロナウイルスに加え、インフルエンザウイルスの流入・流行はあり得ます。
そして日本でも、同時感染者増加のリスクは高い。
- ・インフルエンザワクチンも受けられる環境にあれば、今からでも接種をお勧めします。
昨年には、欧米を中心に感染例に関するレポートが出ていて、イタリアの報告では〈重症化しやすくなる〉〈集中治療室に入るリスクが高まる〉と書かれています。
- ・データなどから推測すると、どちらかの症状が中心に出ると考えられています。
とくにオミクロン株であればコロナ自体の症状は軽いかもしれませんが、インフルエンザの症状が重く出るとみえています。
もともと高齢者や基礎疾患のある患者は、例年インフルエンザでも亡くなっています。
肺の症状や呼吸困難などによる重症化リスクが懸念されます。
- ・インフルエンザと感染力が高い変異株「オミクロン」の同時流行により、二重感染のリスクは高まる可能性があります。
CDC（米国疾病管理予防センター）では、インフルエンザとコロナのワクチンを同時に接種することは可能で、それぞれ別の腕に接種することを勧めています。

「フルロナ予防」と言うことで、インフルエンザワクチン接種も検討されることをお勧めいたします。

国際医療福祉大学教授 べ谷直人

※インフルエンザと新型コロナ同時感染の症例は、インフルエンザおよび風邪を示すフル(Flu)とコロナ(Corona)を合わせ、「フルロナ (Flurona)」と呼ばれている (米 UPI 通信:2022 年 1 月 3 日)